

R元年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市営自転車駐車場（生駒駅前自転車駐車場、生駒駅前第2自転車駐車場、生駒駅南自転車駐車場）			
所在地	駅前：元町1丁目461-1、駅前第2：元町2丁目229-4、駅南：山崎新町144-45			
指定管理者名	公益社団法人生駒市シルバー人材センター	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 3 年 3 月 31 日
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 4 年目	
設置目的	道路の効用の保持及び道路交通の円滑化を図り、あわせて自転車等利用者の利便に資するため			
主な実施事業等	自転車及び自動二輪車の一時利用及び定期利用（1ヶ月及び3ヶ月）			

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
生駒駅前自転車駐車場	円	6,600,000	6,731,785	104.00%	東生駒自転車駐車場、東新町自転車駐車場の廃止
生駒駅前第2自転車駐車場	円	1,600,000	1,531,750	108.65%	
生駒駅南自転車駐車場	円	2,800,000	2,765,790	108.03%	

3 事業収支

	事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計 A	11,002,000	11,029,344	10,441,908
指定管理料	0	0	0
利用料金収入 C	11,000,000	11,029,325	10,441,890
自主事業収入	0	0	0
その他	2,000	19	18
支出計 B	21,465,000	22,079,737	21,631,936
指定事業費	21,465,000	22,079,737	21,631,936
うち人件費 D	17,800,000	18,529,890	18,018,310
うち再委託料 E	0	0	0
自主事業費	0	0	0
事業収支 A-B	-10,463,000	-11,050,393	-11,190,028
利用料金比率 C/A	1.00	1.00	1.00
人件費比率 D/B	0.83	0.84	0.83
再委託費比率 E/B	0	0	0
補足説明(必要に応じて記入)			

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	就業会員に対する「挨拶」、「言葉遣い・態度」、「身だしなみ」等については、回答数の半数以上が満足との回答をいただき結果となりました。ただ、相変わらず自転車駐車場の利用時間の延長拡大を希望される意見が多くありました。		就業者に結果を周知し、利用者ニーズを把握するとともに、改善できる点については解消できるよう努力しています。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	生駒市の道路行政及び市民の通勤通学に大きな役割を果たしている自転車駐車場は無くしてはならないものであることから、利用者の利便性等を高めることに注力し、サービス向上にも努めています。
市の評価	条例で定められた施設の設置目的（道路の効用の保持や道路交通の円滑化）を達成すべく、自転車等放置防止等指導業務とも連携して施設の空きスペースをも有効に活用した管理運営がなされており、評価できるものです。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	自転車及びバイクの区画を設けていますが、区画が満車となった場合は空いている区画を活用し臨機応変に対応することにより、可能な限り駐車できるように配慮しています。また、高齢者や障がい者には出入口付近に駐車できるようにしています。
市の評価	駐車状況に応じた現場ならではの臨機応変な対応がなされており、大変評価できるものです。また、駐車場所の配置が高齢者等の交通弱者に配慮されたものとなっており、現指定管理者ならではの心配りが感じられます。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	利用者アンケートを毎年実施しています。また、その結果については就業者全員で共有しており、利用者ニーズを把握しています。
市の評価	提供サービスのさらなる向上に向けて、苦情に対しても就業者全員で共有しあつたうえで迅速に改善策を講じるなど、再発防止に努めてください。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	光熱費の削減に努力しています。ただし、夏季の冷房等については就業者の体調管理のこともあり、削減し続けることは難しい面があります。その他の経費については、必要最低限の支出にできるだけ抑えています。
市の評価	冷暖房の適切な温度設定や照明のこまめな消灯等による光熱費の削減や、就業者の勤務体制等を精査による最低賃金が上昇する中での人件費の削減について、それぞれ継続的に取り組まれています。今後においても、引き続きこれらの取組を継続されるよう心がけてください。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	利用できる車種、利用料金が市条例で定められているため運営側で変更はできません。したがって、利用者に気持ちよく使ってもらえるようにサービス向上に努めています。
市の評価	H31年2月の東生駒自転車駐車場、R1年12月の東新町自転車駐車場の閉鎖に伴って、前年度よりも収入が増加したことに加え、突発的に生じた資金（資産）をプールして後年度の運転資金に回されており、利用者収入が減少傾向にある中でも堅実な財務運営となるよう配慮されています。今後においても、各自転車駐車場の立地や特徴に合わせて、たとえ少しずつでも収入が増加するような工夫・企画を期待するところです。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	1日3交代の就業とし、必要最低限の人員配置としています。また、接遇研修を実施し、サービス向上に努めています。
市の評価	従事場所や時間帯によって適正と考えられる人員配置がなされています。毎年、接遇研修を実施されているところですが、今後においては、接遇だけでなく業務に係る研修等も実施することによって、より従事者の能力・資質が向上することを期待するところです。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	他の自転車駐車場と連絡を取り合い、空いている自転車駐車場へ案内しています。
市の評価	各自転車駐車場の間での連携した駐輪可能な駐車場への案内は、とりわけ通勤・通学で時間に余裕のない利用者にとっては有益なサービスであると評価できるものです。今後においても、毎年実施しているアンケートの結果から、利用者のニーズにあったサービスを企画・実施されるよう期待するところです。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	事故等緊急時には緊急連絡体制に基づき、通報・連絡を担当職員をはじめ、事務局一体的に対応します。

市の評価	利用者の個人情報には鍵のある事務室で適切に管理されているとともに、事故発生時の通報・連絡体制も適切に構築されています。あってはならないことですが、支障があった場合は不断に見直すようにしてください。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	自転車駐車場の利用者の減少は当事業の大きな課題となっています。利用料金など市条例で定められていることもあり、利用者の減少は収入の減少に直結しますが、現時点では根本的な利用者を増やすことは難しい状況にあります。
市の評価	ヒアリングでは、今後の安定的な収入源となるよう、次年度以降の新規施策の構想案を伺うことができました。このほかにも、利用者の増加につながるような工夫・企画を期待するところです。

6 指定管理者の財務の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	47,875,747	44,614,646	49,480,651
流動資産	47,875,745	44,614,644	43,480,651
固定資産	2	2	6,000,000
負債	18,016,178	17,338,386	15,564,323
流動負債	18,016,178	17,338,386	15,564,323
固定負債	0	0	0
純資産	29,859,569	27,276,260	33,916,328
資本金	0	0	0
売上高	248,949,379	229,624,734	231,959,457
経常利益	29,859,569	27,276,260	33,916,328

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自己資本比率 純資産/資産×100	62.4%	61.1%	68.5%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	60.3%	63.6%	45.9%
固定比率 固定資産/純資産×100	0.0%	0.0%	17.7%
流動比率 流動資産/流動負債×100	265.7%	257.3%	279.4%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	0.0%	0.0%	17.7%
総資産回転率 売上高/資産×100	520.0%	514.7%	468.8%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	62.4%	61.1%	68.5%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	近年の自転車駐車場の利用者数の減少は歯止めがかからず、利用料金も条例で定められており、収入面における改善は難しい状況にあります。他方、支出面においては最低賃金の上昇が続いており、人件費の増加は避けられません。以上のことから、自転車駐車場運営状況は非常に厳しいものであり、この傾向は今後も続くものと想定されます。
市の評価	経費節減に引き続き精力的に取り組まれ、現指定管理者ならではの取組も随所に見られることから、総合的な管理運営体制としては評価できるものです。しかしながら、自転車駐車場の利用者数の減少傾向には歯止めがかかっていないことから、今後においては、利用者の増加（、収入の増加）につながるような複数の工夫・企画を期待するところです。